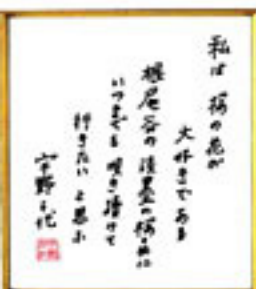




挿絵 (宇野本家)

「生きて行く私」挿絵原画。三井永一画。高森の宇野酒造。今は文学碑が建立されている。



自筆色紙

若木に支えられて万葉(ばんだ)のさくらを咲かせる老樹を千代は密かに自分に重ね合わせた。



生家にて

緑樹で大好きな庭を見ながら歳く千代。

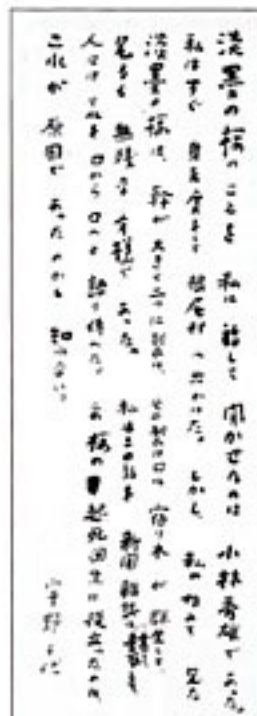
千代デザインのきもの

訪問着「万葉(ばんだ)の桜」故郷岩国を流れる錦川河畔の桜並木と、川面に散りかかる花びらから発想をえた。



さくらは幸福の花

さくらの記憶は、生まれ故郷、岩国のさくら並木から始まります。岩国には、どなたもご存知の名橋錦帯橋がありますが、その錦帯橋のかかっている錦川の土手の桜並木といたら、たとえようのない見事さなのです。昔からさくらの季節を待ち望んだ人々が、近隣近在はもとより、遠くの町や村からも集まるのでした。子供の私には、さくらの並木は、巨大な花の天蓋がどこまでも続いているかに見え、小さな胸をどきどきさせたものです。花の中にすっぽりと包まれた時のあの幸福感。故郷のさくらは、幼い私の心の奥深くにも、その美しさが刻み込まれたのです。



碑文(自筆)

1986年(昭和六十一年)岐阜県根尾村に建立された碑文の下書き。



淡墨桜

淡墨桜の樹齢はおよそ一千三百有余年といわれています。長い間風雪に耐え、今日まで春にはいっぱいの花を咲かせてきたのです。

映像室を開設

開館4周年を記念して、生家内に映像室ができました。毎日11時・12時・13時・14時・15時の5回上映です。本展は千代先生と親交のあった映画監督 龍村仁さんによるものです。どうぞお楽しみ下さい。



関連イベント

NPO宇野千代生家による「淡墨桜を愛でる会」を3月27日(土)、28日(日)に開催いたします。(千代先生の好物だった「いが餅」もご用意しております。)

NPO 宇野千代生家

〒741-0082 山口県岩国市川西2-9-35
☎0827-43-1693